

サケ稚魚放流情報 No. 3



平成24年4月2日
岩手県水産技術センター
漁業資源部
TEL: 0193-26-7915
FAX: 0193-26-7910
E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

表面水温は、平年並～2℃低めです。動物プランクトンは、平年並～少ない状況にありますが、冷水性の大型種も見られます。

今後、水温が急激に上昇し、放流適期が短くなる可能性があります。飼育密度を超過しないように調整放流を進め、低密度で目標サイズまで育てた稚魚を、海況に注視して5月上旬までに放流するよう心がけてください。

1 表面水温

3月21, 22日の表面水温は、宮古湾 **4.8℃** (同期9年平均6.4℃, 前々年同期5.3℃), 山田湾 **4.7℃** (6.1℃, 5.0℃), 唐丹湾 **4.2℃** (4.5℃※7年平均, 4.0℃), 越喜来湾 **4.1℃** (5.6℃, 4.8℃), 大船渡湾 **4.5℃** (6.7℃, 5.1℃) と、各湾とも依然として平年、前々年並～2℃低い状況でした。

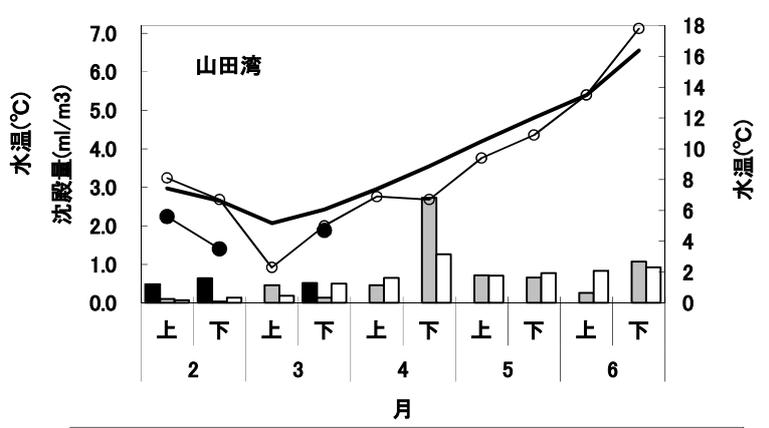
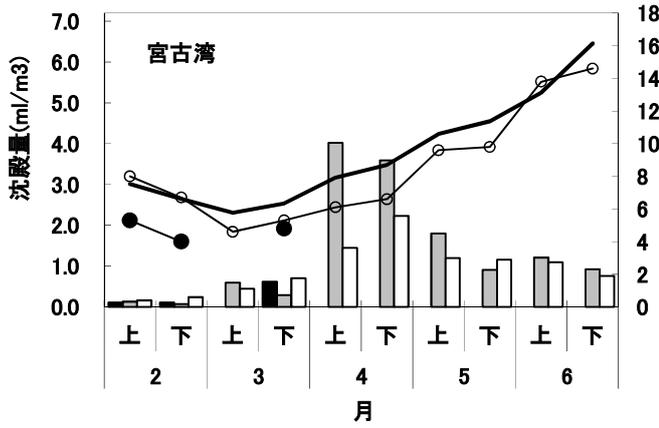
2 動物プランクトン沈殿量

3月21, 22日のノルパックネット鉛直20m曳きによる動物プランクトンの沈殿量は、宮古湾 **0.62ml/m³** (同期9年平均0.70ml/m³, 0.29ml/m³) 山田湾 **0.52ml/m³** (0.50ml/m³, 0.13ml/m³), 唐丹湾 **0.40ml/m³** (0.27ml/m³※7年平均, 0.16ml/m³), 越喜来湾 **0.06ml/m³** (0.41ml/m³, 0.13ml/m³), 大船渡湾 **0.17ml/m³** (0.99ml/m³, 0.68ml/m³) でした。越喜来湾を除き平年、前々年並から少ない状況でした。また、宮古湾、山田湾、唐丹湾では、冷水性の大型種が出現していました。

3 その他

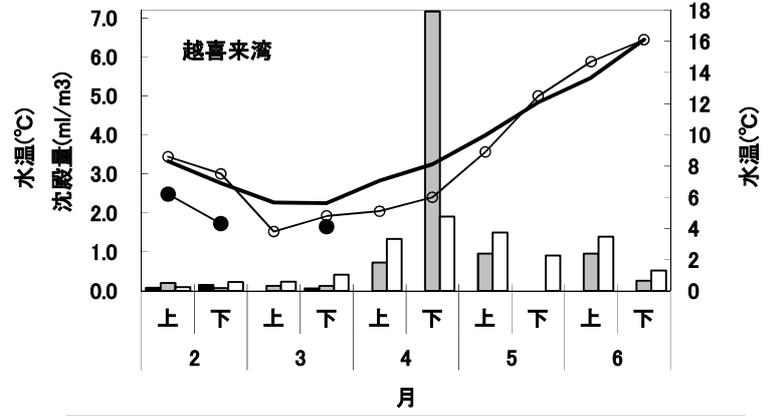
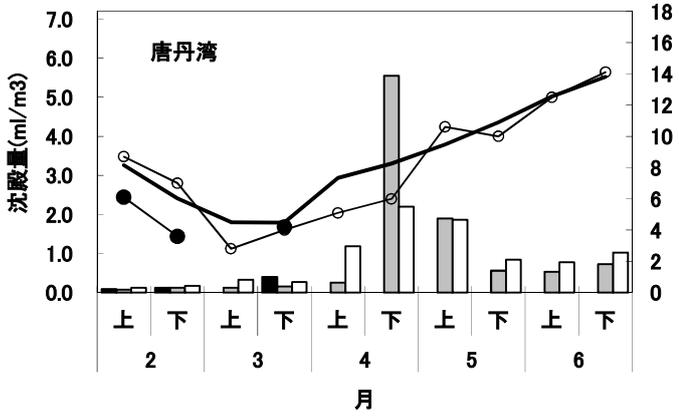
① 岩手丸の3月の定線海洋観測調査で、本県沿岸には5℃以下の親潮系冷水が黒埼沖10～40海里から椿島沿岸0～20海里にかけて分布しており、平年よりも1～3℃低い状況ですが、トドヶ埼沖40～50マイルには12℃台の水塊も認められています。今後急激に水温上昇する可能性もあります。※<http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/>

② 津波の影響で山田湾、広田湾以外の定地水温が得られておりません。いわて大漁ナビ (<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>) の衛星画像も参考にしてください。



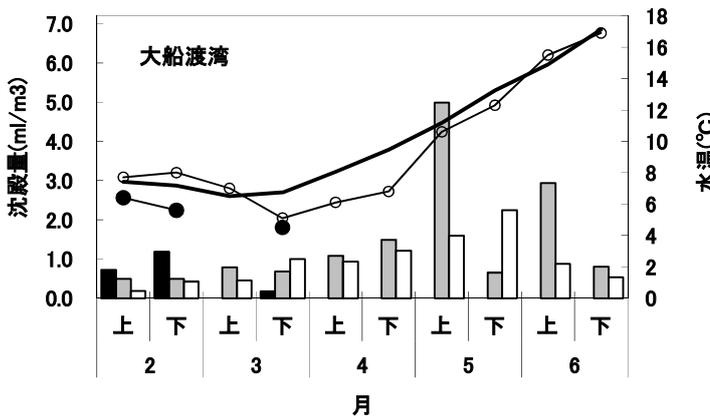
■ H24沈殿量 □ H22沈殿量 □ 9年平均沈殿量
 ● H24表面水温 ○ H22表面水温 — 9年平均表面

■ H24沈殿量 □ H22沈殿量 □ 9年平均沈殿量
 ● H24表面水温 ○ H22表面水温 — 9年平均表面



■ H24沈殿量 □ H22沈殿量 □ 7年平均沈殿量
 ● H24表面水温 ○ H22表面水温 — 7年平均表面

■ H24沈殿量 □ H22沈殿量 □ 9年平均沈殿量
 ● H24表面水温 ○ H22表面水温 — 9年平均表面



■ H24沈殿量 □ H22沈殿量 □ 9年平均沈殿量
 ● H24表面水温 ○ H22表面水温 — 9年平均表面

図 5 湾における動物プランクトン沈殿量，表面水温の季節変化